伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
電話 七・四六七〇
社長 黒石清作
Director M Sameshima
購讀料 一ヶ年 六十軒 半ヶ年 三十軒
廣告は御照會次第御返信

珈琲
サントス四級 十キロ ノミナル
リオ七級 十キロ 一二、三〇〇

爲替
對日 四、六六五
對星貨金 五、八一〇
對米 一九、七〇〇
對英 八〇、〇五〇

全植民地を米に渡し 大英國よ何處へ行く

下層階級に暴動勃發の危機蘊釀

ガイダ主筆 英の敗退指摘

（羅馬二十四日同盟）ジョルナーレ・デ、イタリア紙ガイダ主筆は、二十四日の同紙上に「危機到來」と題する論説を掲げ、大英帝國の世界的敗退の情勢が益々深刻化してゐる事を次の如く論じてゐる

英國はベルムダ、バハマ、ジャマイカ等西大西洋諸島嶼を米國の利益の爲に引渡した、米國はこれ等諸島嶼に軍事施設を築造した後は、これ等諸島嶼に對する自國の主權を要求するに至るであらう、米國は更に其の支配をカナダ濠洲に迄も延長せんとして居る、又極東に於ても米國は、シンガポールの共同支配を問題にし英國が退却せんとしてるが、更に此處では兩國共アジアに於る新興國家からインドを渡される事とならう、斯の如く、英帝國の總ゆる政治、經濟、財政機構を崩壞に導くとすれば、英國にとつて今次戰爭は一體何が目的であつたのであらうか、今や英國では歐洲及び全世界に於て、今日迄所有して來た持物を本も子も無くして終ふのを敎へられてゐる、少壯階級から反戰運動、下層階級から暴動が勃發する樣な事があつても吾々は意とするにたりないであらう

時事評論

英米兩國が日本軍佛印進駐を今更の如く騒ぎ立てゝゐる折柄、北方ソ聯の態度を一瞥して置くのも興味が深い、先づプラブダ紙の論評は次の通り

日本軍の進駐は既に久しい以前から計畫萬端遺漏なく出來てゐたことで、今回それが實現したとて何等驚くに足らない、只日本が今まで靜觀してゐたのは西歐の戰況の推移を見てゐたのであつたまでゝある、一方日本としては米國側より強力なる反動を受けることを豫測してゐたことは事實だが現在米國は將來の反獨準備に大童となる程度に止まると見極めをつけたものである

更に日タイ同盟は日本の勢力を一躍南進せしめ、英の海峽植民地をも危險に陥れたとなし、結論として南太平洋も遂には帝國主義諸國爭覇の戰場と化する運命は免れないと、日米戰を希望し、日本軍の南進を暗に歡迎し、自然の勢と見做すところにスラブ族の安心すら認められて興味が深い

所る形勢の下では米國政界の一部が希望するソ聯を日本牽制の手先にせんとする策謀も甚だ望み薄と謂はざるを得ず

ソ滿國境には一時程國境衝突事件も發生せず、曲りなりにも漁業石油協定を成立させるソ聯の態度は愈々米國の希望とは正反對の方向に進みつゝあるものである

伯林空襲四時間 英空軍最長記錄作る

（伯林二十五日同盟）英空軍は二十三日午後十一時ベルリンを空襲三時間五十分に亘り爆撃を續けたが、英機のベルリン空襲の最長記錄である

百二十の佛機大編隊 ジブラルタル連爆

（ビイシー二十五日同盟）佛政府は英艦のダカール攻撃に對する報復として在植民地二軍に斷乎防衛を命ずると共に二十四日、百二十機の大編隊を以てジブラルタルを反復爆擊した

（巴里二十五日同盟）（スペイン）英海軍のダカール攻擊に憤激した佛空軍のジブラルタル空襲は、二十四日午後も續行され佛領モロッコから飛び出した佛爆擊機三十機は約一時間半に亘つてジブラルタル上空を飛翔、果敢な爆擊を行つたが爆彈はガソリン倉庫に命中したらしく、眞黒な煙が空を蔽つてる

佛印軍との紛爭顛末

二十三日 駐伯帝國大使館武官室發表

帝國大使館武官室發表（二十三日）皇軍の佛印進駐に關しては佛印側との交渉成立し、二十二日進駐を開始せり、然れ共佛印軍側の誤解又は命令の不徹底に基き局地的紛爭を惹起せりその情況左の如し

一、ドンダン區（龍州南方國境）附近にて我進駐軍に抵抗せる佛イン軍は二十三日午前十一時全部降服し武裝を解除す

二、諒山の佛イン軍も午後二時頃抵抗を中止し、武裝解除せるもの〻如し

三、我方は局地的解決に努めつゝあるを以て、佛イン側にして不法抵抗を繰返さゞる限り、紛爭は擴大せざるものと思惟す

皇軍佛印進駐 蘭印各紙論評控ふ

（バタビヤ廿四日同盟）日本軍の佛印進駐に關しては、蘭印各紙は、これを大々的に報道してゐるが、これに論評を加へてゐるものは一つもない。蘭印としてはこれが批判を爲す前に先づベルリン、ワシントン、ロンドン等の反響を待つてゐるものと謂はれる

重慶軍の佛印侵入 佛は斷じて許さぬ

佛、外相重慶へ申入れ

（ビイシー二十五日同盟）ボードアン佛外相は二十四日重慶政權に對し覺書を送り、重慶軍の佛印侵入は斷乎として許容し難い旨、申し入れたと發表した

當つて見て "日本軍の強さが判つた"

捕虜佛兵將校感歎して語る

（東京二十五日同盟）日佛兩兵が不慮の衝突惹起の際皇軍に投降した佛軍捕虜に對しては出來るだけの保護を加へ、又家庭通信などの便宜を與へてゐる、記者は廿四日午後前線から後方〇〇に護送される四名の佛イン將校から彼等の氣持を聞く事が出來た、此の四名は東京の歩兵聯隊中隊長ウンローリー大尉（卅六）同小隊長ガョー少尉（廿三）植民地歩兵隊ジュエリー中尉で（卅三）何れも去る六月我軍の龍州國境正面作戰の頃國境守備の爲増強され、廿三日午前八時頃ドンダンで我軍に抵抗戰鬪中投降し後方〇〇に護送されたもので、我軍は彼等の爲め將校宿舍二室を與へ兵を附して身の廻りの世話まで行はせ食物も米食の出來ぬ彼等には不自由な戰地ながらパン、スープ、肉類などを與へ投降者とは思へぬ好遇を加へて居り、彼等も皇軍の眞意を漸く理解し取調べの大山部隊長以下係員にも率直な答辯を行つてゐる、記者が彼等の宿舍を訪れると支那家屋ながら疊の上に數枚の毛布さへ敷いた明るい一室で交々次のやうに語つた

フローリー大尉

我々は日本軍の平和進駐の事も知らず、又それについての命令も受けてゐなかつた、午前一時過ぎ私がドンダンの兵營で日本軍の進駐を聞いて陣地守備について抵抗したが、抵抗もむなしく遂に投降せざるを得なかつた、此處に着いてからの日本軍の厚い友情には感謝の外は無い

ジュエリー大尉

私はあの時ドンダン南方高地の守備に當つた、夜明け頃から日本軍の姿を見ると同時に相當抵抗したが駄目だつた、私は前の歐洲戰爭にも出征したが今度は日本軍に當つて見て、その強さが判つた

合法交渉に依る日本軍の進駐とは知らずに戰はねばならなかつたのは遺憾であつた、警備隊長のジロー少佐が戰死されたのでその死體を收容しやうとしたが、少佐は太つてゐて思ふやうにならず自分も遂に投降する事となつた、こつちへ來て日、佛イン外交々渉に依る日本軍の平和進駐の事を聞いて深く驚き抵抗した事を後悔してる

ガョー少尉

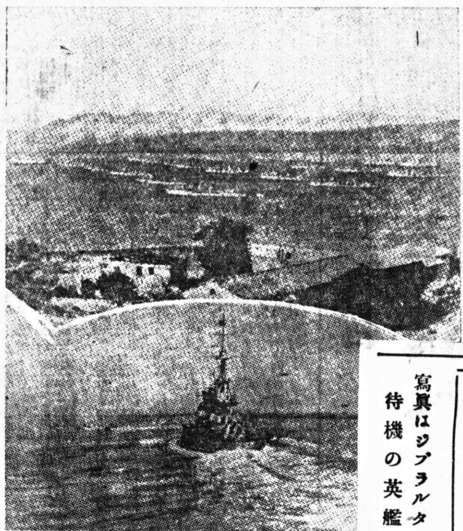
私は最近まで鎭南關の分哨長をして居り折角大山部隊長等日本軍の將校の方とも友達になつてたのにこんな事になつて殘念です、これも當方の命令不徹底にあつたので致し方ありませんがこつちに來て見て一層日本軍の優れた點と溫かい心が判りました

佛印軍最高指揮官 我斥候の爲射殺さる

（ドンダン廿五日同盟）不慮の事件によつてドンダン地區佛印軍最高指揮官ルーベー中佐は遂に戰死したが、同中佐はドンダン停車場東方山地の陣地から若干の部下と共に守備隊陣地を見廻りに行く途中停車場附近の橋梁において、我が數名の斥候と衝突、我が斥候はその時中佐の率ひる一隊より猛射を受けたので、これに應戰中佐はその犧牲となつたものであつた、廿四日同中佐の死體が發見されるや皇軍勇士は指揮官に對する禮を以つて叮重に、相前後して戰死せる同地警備長ジロー少佐埋葬の側に葬り、花輪供物を捧げて、毎日佛印兵捕虜の禮拜を許し懇にその靈を慰めてゐる

我の抗議に英側釋明

（東京二十五日同盟）廿二日豐田シンガポール總領事は英國側民政長官を往訪、英國官憲が篠崎囑託その他邦人逮捕に際し、帝國總領事館に侵入したる不法行爲に就き抗議を申入れたる處、英國側が總領事館事務室に侵入したるは、これを篠崎囑託の私室と誤認したる爲なりと言明し、總領事館專用倉庫に施したる封印は即時解除した



寫眞はジブラルタル待機の英艦隊

東洋平和に重大意義

泰國官邊筋の綜合意見

（盤谷二十三日同盟）佛印問題に關し、泰國官邊筋の意見を綜合すれば次の通りである

佛印問題が圓滿解決し平和裡に日本軍の進駐を見るに至つた事は、日佛兩國の友好關係から見て喜ばしい事である、タイ國は佛印問題には隣接國として異常な關心を持つてその成り行きを注視してたのであるが、今回の協定成立は對佛關係並に對日關係に好影響を與へ延いて東洋全土の平和維持の爲め極めて重大意義を持つてゐる、佛印進駐に關し當地各方面では多大の關心を示して居り、二十三日の（ラルド紙は社説に於て

一、佛印政府が獨逸の支配下にあるペタン佛政府に忠誠を示した事

一、英米兩國が極東の軍事的紛爭事態の擴大に多大の關心を示しつゝある事

の二點を擧げ、我軍の佛印進駐の意義を重大視し、特に目下ワシントンで行はれてる、英、米、濠、三國會議に於て極東問題に對處する爲シンガポールの英米共同使用を協議してる事實をこれと結び附けて大き、取扱つてる

同じフランス人と戰ふことは出來ぬ

ダカール攻擊參加佛兵撤退

（倫敦二十五日同盟）ダカール攻擊に參加せるドゴール政權以下の軍隊及び艦艇は二十四日同國人たるフランス人と戰ふ事を欲せず、ダカールから撤退したと、尚ドゴール將軍は同政權側の兵士が三色旗と白旗とを掲げて非武裝平和的上陸を行はんとしたにも拘らずダカールの佛海軍が數名の死者を出した事は、不當であると其非を鳴らしてる

天羽大使 チアノ伊外相訪問

（羅馬二十四日同盟）天羽駐伊大使は、二十四日正午キジ宮にチアノ外相を訪問、約四十分に亘り協議を遂げた、會談内容は、佛印問題に關しチアノ外相は二十三日イタリア政府が聲明を行つた趣旨に基き、日本の態度に對し共鳴の意を表明したものと信ぜられる

元ポーランド大統領 リスボンへ亡命

世界的ピアニスト

（壽府二十四日同盟）ポーランドを亡命して以來レマン湖畔モルジュに隱棲中だつた世界的ピアニストで元ポーランド大統領のパデレフスキーは今後米國で平和な余生を送るため廿四日モルジュの住居を引き拂ひ、ポルトガルのリスボン向け出發した

支那軍 佛印進攻を仄かす

大公報 重慶特電

（香港廿四日同盟）大公報重慶特電によれば、支那軍事當局は廿四日左の如き談話を發表、必要な場合には時を移さず進攻作戰に出る旨を公表してゐる

雲南省、佛印國境に集結中の我が部隊は未だ軍事行動に乘り出してゐないが、これは佛印の狀勢が、未だ混沌としてゐるからで、我が軍はこの動亂期にあつて、隨時中央の命令を受けて行動を起すが、只日本軍が確實に雲南省境に向かつて進發することが證明されたる後初めて佛印領内に侵入を開始するであらう

エジプト 遂に戒嚴令布く

（カイロ二十五日同盟）エジプト政府は、イタリア軍の侵入と國内自體の重大化に鑑み二十三日遂に戒嚴令を布告した

電撃

◆英艦隊のダカール攻擊に刺戟されスペインも愈よ參戰の肚をきめたらしい

◆世界的ピアニスト、元ポーランド大統領がリスボンへ亡命する、國亡びて山河あり、哀しみ極まりなき心境から素晴らしい藝術の創造を待望する

◆英軍ダカール襲擊戰に陸戰隊上陸を六回試み、六回共失敗した、上陸失敗戰に新記錄樹立

◆憤慨した佛軍爆擊隊、ジブラルタルを痛爆、思ふ所は手に入らず、爆擊の返禮では商人の英國人も下手な計算をしたもの

◆當つて見て日本兵の强さがよく判りましたと佛印捕虜が述懷、僅數名の日本斥候に猛射を浴びせかけ、反對に佛インの中佐殿が射殺された、觸れば玉散る日本の精兵、溫和しくしてるに限る

◆歷史的文化の殿堂ケンブリッヂ大學空爆の標的となる、哀惜の念更に切なり

◆ヒョロ〱になつた重慶軍佛イン進軍を仄かす、往生際が悪いぞ

◆同じ佛人同志が戰ふことは出來ぬとダカールの佛兵撤退本當に悲慘なことだ、佛の爲同情に堪えぬ

哀れケンブリッヂ大學 獨機猛爆の的となる

（倫敦二十五日同盟）二十三日夜から二十四日朝にかけ、久しく靜寂だつたロンドン上空に獨機飛來又亦熾烈な攻防戰を展開し多數の銀行、高級住宅が爆擊を受けた又二十三日の英機ハイデルベルヒ大學爆擊の報復として獨機は此の日ケンブリッヂ大學に爆彈の雨を降らせた

あばれ大名

（誌上連載映畫化）

久我莊多郎
[illegible]畫

（二百十一）

（どくろ船）

心の地震（三ノ一）

可哀さうなお由良――それと知ると文字兵衞、いたましさうにお由良の顔を、ぢッと見詰めてゐたが

「お由良さん」

「……………?」

「お前さんは、こゝから、逃げ出さねばならない。そしてその眞相を、ハッキリと確かめるんだ。いや、何よりも支倉大三郎に、めぐり會はねばならないんだ」

「お、親方さん、お願ひです!」

と喘いで

どうぞ――どうぞわたしの力になつて下さい。わたしを助けて下さい!」

さういふと、お由良は、帶の間の懷劍を拔き出して、プッツリと文字兵衞の繩目を切つた

「――逃げませう。逃げて下さい。この五劍山から、いゝえ、讚岐から……」

――けれど、その行手には番士の短槍が鋭く光つてゐるのではないか!

◇

じやがたら風が吹きあれてゐる――

吹上閣の物置倉を引き出された浩齋は、橫溝平馬の邪險な手で、そこに待つ駕籠の中へ押し込まれた

（どこへ連れて行かうとするのだらう?）

まづ、その不安が、ふかく老人の心を捉へるのだ

ずッと、平靜な氣持でゐた浩齋である。死も生も、はるかに超越した氣持であつた。どんな場合にも、坦々たる心で、おのれに襲ひかゝらうとする運命と、向ひ合つてゐた彼であつた

それが、急に死を恐れ、おぢけるといふのは――?

理由があつた。物置倉での朝、偶然にも巡り會つた文字兵衞といふ目明しの言葉の數々から、浩齋は、にはかに生への強い執着を覺えさせられたのだ

亡き首領の子息たちは健在で、この地を目指してゐるといふ

會ひたい!會つてともゝゝに報復の戟を執つて立上りたい!

それをするには、何よりも死を恐れねばならないのだ。雨崎屋の魔手から、遁れねばならないのだ

――浩齋は、思ひがけなく氣弱くなつたおのれ自身を振返つて、そんなことを考へる

垂れの隙間から、明るい外をのぞくと、駕籠は城下の屋敷を迂回して、西へ走つてゐるのだつた

（どこまで行くのか?）

と、不安に驅られる耳へ、やがて、遠く波の音が響いて來た。あまやかな潮風が、ほのぐゝとたゞよふて來た

（あ、海だ!）

海こそは、彼の世界ではなかつたか

浩齋は、生きゞゝとした目の色になるのだつた。顔色をかゞやかすのだつた

身内の血が、元氣に活動するやうに思へるのである。いま、自分に襲ひかゝるであらう不幸な運命のことも忘れて老人は、しばし健康さうに胸を張つた。久しぶりの海の大氣を、のびゝゝと嗅いだ

不意に、ドシン、と駕籠が停つた

一緒に、平馬の手が亂暴に垂れをまくし上げて

「出ろッ!」

そこは、波打際である

浩齋が見ると、すぐ目の前に愉ヤ德兵衞が、傲岸な態度で突つ立つてゐる

神代をしのぶ神樂舞

畏し御製から奉祝「浦安の舞」

【東京發】紀元二千六百年奉祝會では來る十一月十日の紀元二千六百年式典に際し、曠古の盛典を奉祝するため全國各神社に奉納する紀元二千六百年奉祝神樂舞を制定中のところ今回「浦安の舞」が完成、祝典事務局から發表した「浦安の舞」は宮内省の許可を得て今上陛下の御製「天地の神にぞいのる朝なきのうみの如くに波たゝぬ世を」を宮内省樂部樂長多忠朝氏が作曲振附した神代の手振りを偲ぶ莊重典雅な神樂舞で、紀元二千六百年を奉祝するとともに永く記念するため今後は平素の祭典にも奉奏することになり、皇典講究所及び全國神職會に委囑し全國主要十四ヶ都市に講師を派遣して普及を圖る筈である寫眞は【浦安の舞】

奢侈品製造販賣制限規則

纖維製品に例外設く

合格品には特免のマーク

【東京二十五日同盟】奢侈品等の製造販賣制限規則の有效期間は、十月六日を以て終了するが、禁制品の内纖維製品の製産額一億一千萬円に對し販賣禁止の影響は大きいので商工省では二十四日開かれた道府縣商工課長打合會の結果物資確保の見地から禁製の在庫品の内で、比較的奢侈性の少い纖維製品の必要品に付き販賣を許可する事とした爲め中央市場に認定委員會を設け合格品には「特免」のマークを附し、商工大臣の許可を待つて例外販賣を許される、今回の例外規定の適用に依り禁製在庫品は金額にして五割、數量にして六割のものが實用品として認定される見込みである

世界的物價高騰

日銀調査に現る

【東京廿五日同盟】日銀調査八月中外卸賣物價指數によれば、英國の前月比二歩四厘の大幅續騰をトップに日滿米三國も共に軒並みに騰貴を示した、即ち我國は建築材料その他前月比二厘方の續騰を示し英國はドイツの襲撃を契機として物價の騰勢は再び顯著を加へ大戰一ヶ年の物價騰貴率は實に四割二歩二厘に達して居り、米國も軍擴熱の再擡頭によつて、物價は再び上向くに至つた、詳細左の如し（昭和八年一〇〇、括孤内前月比騰貴率％）

日本八月指數一七〇、〇前月比（〇、〇六）
滿洲國二四一、三（〇、五）
英國一五六、〇（三、六）
米國一一七、九（〇、六）

海軍人事異動

【東京廿五日同盟】海軍では仙台地方海軍人事部長の更迭に關し、廿五日左の如く公表した（海軍省公表）

本日左の通り補轉せらる

海軍大佐　末廣　由巳
補仙台地方海軍人事部長

尙前任者海軍大佐竹内平七は戰地某要職に補せられたり

陛下より賜謁

建川大使以下三公使

【東京二十五日同盟】近く赴任する駐ソ大使建川中將を始め、三谷スイス鈴木エジプト、昌谷フィンランド各公使は、二十五日午前九時二十分宮中に參内、鳳凰の間に於て天皇陛下に拜謁仰せ付けられ、次で建川大使は夫人同伴三公使と共に内謁見所にて、皇后陛下に謁を賜はり、賢所に參拜、恐懼宮中を退下した

英米との摩擦を懸念

株式市場の商ひ閑散

【東京二十五日同盟】日佛の話合ひに依つて、我が軍は佛インに進駐し、支那事變解決に一大進展が期待され、頗る好感を以て迎へられたが、他方英米との國際關係に摩擦を生ずるのでは無いかと云ふ不安もあり、二十四日の株式市場は新鐘紡等の輸出關係株は崩落して人氣大概ね引き立たず新東株も百十一円四の寄り付からヂリ安を辿つて百九円七の安値に大引けした、雜株も新東の波動と共に小波亂を示して居たが國際情勢の見透し難から一般に見送つて居り商ひは存外閑散であつた

論功行賞

大陸の野に偉勲

武士の頭上に榮光燦

【東京二十五日同盟】陸軍省發表論功行賞

功三昇陞
歩兵中佐　時崎　兼親
熾烈なる敵火を冒し、率先敵陣に突入して、主力の突擊並びに戰火擴張を容易ならしむ

功五旭五
歩兵中佐　小澤竹次郎
好機を看破し、トーチカ陣に突擊す

功五單功
歩兵少尉　竹森　亘
この高地を敵に渡すなと一言殘して散華す

功五旭六
歩兵少尉　田口幸之助
砲兵中隊長として砲の特性を最高度に發揮す

功四旭五
砲兵大尉　森　正勝
尖兵長として猛烈果敢なる追擊を斷行し、虹江占領の先陣をなす

功四旭六
砲兵大尉　吉村　幸雄
鐵牛奮迅の戰績北支に生く

功四旭四
歩兵少佐　樋口　與市
原平鎭の武勇永遠に輝く

功五旭六
歩兵少尉海老名源次郎
歷戰偉功を重ぬ

功四
騎兵少佐　田原　傳造
中隊長として屢々偉勲を重ぬ

功四旭五
歩兵大尉　和歳　英
世界空軍史に燦と輝くノモンハン空の勇士

功四旭五
航空兵少佐　增田　巖
同　本村　孝治
同旭四　島田　健乙
同　可兒　歳次
同旭五　安西　秀一
同旭六
航空兵大尉　安原　三郎
同　島谷　喜彦
同　小泉　正三
同　伊東　敏
同　本間富士雄
同旭五
航空兵中尉　山口　末唯
功四旭六
航空兵大尉　鈴木　昇一
功五單功
航空兵少尉　篠原　弘道
同　花田　守
同　松下　島吉

江南に武勲輝く陸の荒鷲
功四旭六
航空兵大尉　森川　嘉一

美麗な仕上り安價な値段
印刷物なら時報社へ

超短波

東條陸相參内

東條陸相は廿五日午後二時四十分宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰せ付けられ、所管事項を委曲奏上種々御下問に奉答して同三時五十分宮中を退出した

柳川長官支那に向ふ

柳川興亞院長官は廿五日午後十時二十五分東京驛發列車で西下、神戸から乘船現地事情視察の爲め支那に向ふ事になつた

警官懇談會

交番巡査として人民保護の第一線に活躍してる全國の優良警官七十四名を廿五日内務省に集め、一行を六班に分けて座談會を開いた、中には勤續三十六年六十才の廣田巡査部長、勤續廿四年本年取つて五十才の小林部長等がある、

小林部長談

私は關東大震災の折、帝都警備の爲め東京に來た、今度が十七年ぶりの上京である、東京の變り方には驚いた、道には「皇軍の武運長久を祈る」と云ふ看板の多い事である

漁船隊歸る

去る廿二日三百の漁船が出漁投網を開始し、廿三日すでに十五万尾の漁獲を得た茨城の平安丸が廿五日午前十時快速を利して鹽釜に一番乘りの凱歌をあげだ

建築家屋數

去る七月中の東京他廿一都市の家屋建築數左の如し

七千四百〇四棟（棟數）
九十七万平方米（敷地）
三千九百八十四万円（建築費）

右の内六割七分は新築家屋である

ブルガリアと教育親善

豐田、望月兩刀自の功勞波越えて

【東京發】世界新秩序の東亞における盟主日本に憧れを寄せてゐるブルガリア國でわが國の幼稚園教育に一生を捧げた現存の二女性豐田芙雄刀自（八六）、望月クニ刀自（七二）のことを同國一流教育雜誌に掲載、同國の教育界に紹介するといふ美くしい話がある

これはブルガリア國蜂谷公使が同國のアメリカン・カレッジ監督カサボワ女史から依頼され外務省あて推薦方を依頼して來たものを、さらに文部省から東京女高師教授同附屬幼稚園主事倉橋惣三氏に人選を委囑、同氏は愼重調査の上前記二女性を推薦することになつたものである

豐田芙雄刀自は去る六月九日號のサンデー每日掲載「生きてゐる歷史」にも紹介された維新の志士藤田東湖の姪に當り烈婦としての半面日本における最初の幼稚園保母を勤めた先達であり、望月クニ刀自は明治廿年女高師卒業後間もなく幼稚園教育に捧げ現に神戸山本通五に生涯を私立神戸愛兒園主として今なほ壽康してゐる功勞者である

定例閣議

【東京二十四日同盟】二十四日の定例閣議では先づ東條陸相より佛印問題に就き「其の後戰鬪行爲なく進駐は順調に行はれてる」旨報告あり、次いで星野企劃院總裁より國土計畫設定要綱につき詳細說明し、各閣僚是を諒承、正式に決定した

製法特許
ハリバ

滿洲國外務局次長

三浦武美氏就任

【新京廿五日同盟】外務局次長田代重德氏は、近く外務省に復歸する事となり、その後任として三浦武美駐滿大使館參事官が就任、滿洲國入りをすることゝなつた

喜びの藤澤町（神奈川縣）

來月より市制施行

【東京廿五日同盟】内務省では來る十月一日より、神奈川縣高座郡藤澤町を廢しその附近に藤澤市を設置する旨、廿五日附官報で告示した、藤澤市制施行により全國の市數は百六十七となる

大江山ニッケル鑛業

鐘紡と合同成る

【東京廿五日同盟】大江山ニッケル鑛業では豫て現在の資本金を一擧十倍の二千萬円に增資すべく申請中のところ、この程日銀資金調整局より無條件で認可された大江山ニッケルは森コンツエルンの一環として日本化工の傍系會社となつてゐたが、先般鐘淵紡績が森工業所有株四万株を肩替りし今回の大增資を企圖し津田信吾氏を會長に推薦することに内定して居り、鐘紡との提携實現、この兩社の合同は注目される

有馬伯

貴院議員辭任

【東京廿五日同盟】貴族院議員有馬賴寧伯は、大政翼贊運動に挺身するため、去る十七日貴族院議員の辭表を提出したが、十九ト御聽許あらせられたる旨、廿五日附官報を以て發表された

餘錄

◆ダカール上陸に失敗した原因は「獨伊の大軍が陣地を固めてゐた」からだと

◆英上陸を策したドイツ舟艇が顚覆して六十人も？鹽水を飲んだと發表…デイリー・メールの報道

◆佛イン作戰で何處よりも吃驚したのはランインだ、アレヨ／＼と大慌て

◆エジプトに依然戒嚴令は施行してゐないそうです

◆ケンブリッヂ大學がやられると來年のボート競漕はどうなるかと心配してゐる者がある

◆日軍佛イン進駐は對米挑戰だ、挑戰には適當な返答が必要だと…アバス通信がわめく

◆獨伊は歐洲からユダヤ人追出しを開始したと宣傳する、これは米國に最もよく響きます

東亞共榮圈

日滿支三國の國力を綜合

國防國家建設へ

國土計畫設定要綱成る

【東京廿五日同盟】日滿支三國の緊密なる提携の下に、大東亞共榮圈確立を圖り、その間國力を綜合しつゝ國防國家建設を爲すためには先づ產業、經濟、交通、衛生等各般の施設實狀を分析し、更にこれを一貫する方針の下に綜合有機的な聯繫を圖る必要あり、このため政府は豫て企劃院を中心として國土計畫の具體化に當らしめてゐたが、やうやくこの程成案を見たので、廿四日の定例閣議に於て、星野企劃院總裁は、右國土計畫設定要綱に就て詳細說明し承認を得た、その重點は次の通りである、即ち

イ、計畫の種別としては、日滿支を一體化した國土の綜合的自由計畫を樹立し、且つ單位地域に人と施設の合理的案配を圖る

ロ、次いでに外地各地方の特性を發揮せしめた國家的見地からする中央計畫を樹て、中央計畫は各中央所管行政を基準として運用する

次でその作定要領としては先づ國土の愛護保全を旨として綜合的交通計畫、綜合的動力計畫とを編合せて防空を考慮しつゝ產業及び人口の統制的配分に重點を置き、資源の保全開發と適正な交通配分を圖る等で、從つてこの間に工業振興計畫農林水產計畫、内外交通整備計畫、綜合的地水、人口配分計畫、文化、厚生施設等が含まれてゐるわけである

上海に大罷業勃發

電車、バス立往生

英國系會社支那人從業員起つ

【上海二十五日同盟】英國租界の英國系電車會社の支那人從業員千五百名は、先週賃金値上げ要求を叫んでストライキに入つたが、今週に至り同じく英國系の中國公共バス會社の支那人從業員二千名がこれに呼應してストライキを宣言、更に今二十五日にはフランス租界にも飛火し同租界バス會社從業員二千が同盟罷業に入り、こゝに上海兩租界内の公共交通機關は全く停止し、罷業團員六千五百と云ふ事變以來最初の大規模な總罷業となり、市内は大混亂に陷つてる

安田保善社の人事新體制

【東京廿五日同盟】安田保善社では今般四理事合議制を廢し、總務理事制を施くと共に理事一名を增員することとなり、廿四日同社に理事總會を開いた結果、總務理事に現常務理事森廣藏氏新理事として東京火災社長林秀彥氏がそれ／＼選任された、尙森氏は保善社の總務理事就任と共に安田銀行副總理を辭し、その後任としては現取締役營業部長安念精一氏が就任することになり、同日開催の安田銀行臨時重役會においてそれぞれ決定を見た

全國卸賣り

八月度物價指數

【東京廿四日同盟】商工省發表、八月の全國卸賣り物價指數は二百六十三、五にして前月に比例して一パーセントの低落を示した、前年八月に比すれば九、一パーセント事變前たる十二年六月に比すれば四、二パーセントの各騰貴に當る右物價指數中騰貴せるは建築材料、金屬品、雜品、低落せるは肥料の他、工業藥品燃料等である

滿洲製糖

株主總會

【東京廿五日同盟】滿洲製糖では、廿五日丸の内生命保險協會に臨時株主總會を開き、現在の資本金一千万円を（全額拂込み濟み）二千万円に倍額增資する件並びに右に伴ふ定款變更の議を附議可決した

外相參内

【東京廿五日同盟】松岡外相は廿五日午前十時廿五分宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰せつけられ、一般外交經過につき種々奉答して退下した

出版新體制

第三回準備委員會

【東京廿五日同盟】出版新体制第三回準備委員會は、廿五日午前内閣情報部に於て開かれ詳細に審議された「日本出版文化協會設立綱案」を承認、かくて準備委員會は一應役割を果したので、今後は設立委員會を任命して協會設立の具體化を計ることゝなつた

神經衰弱に惱む方へ

神經衰弱の方は先づ其原因を究はめる事だ。此病氣は往[illegible]場合は適當な處置をとればワケなく恢復する。元來健康[illegible]のである。自己診斷でわからぬ時はスグ醫者にかゝり神[illegible]單なる身體の變調かを診斷して貰ふ必要がある。後者の場合は食養生と燐素藥の使用によつて恢復するも[illegible]燐素不足に原因する如何なる神經衰弱にもよい恢復の藥[illegible]スファンである。トノフォスファンの注射は二十四時間[illegible]らしむる程顯著な効果あるものだ。

Casa Allemã
PARA SATISFAZER O SEU DESEJO
RECEBEMOS NOVIDADES EM GRAVATAS
PARA TODOS OS PREÇOS
SCHAEDLICH, OBERT & CIA. R. DIREITA 162-190

社告

謹啓　時下益々御清祥之段奉賀候　陳者弊社各外交員を頭書の地に差向け居り候間宜敷く御配慮の程御願申上候

○聖市市内　菊地鐵彌
○マリリア、ペラクルース、ウヤフア、ガリヤ、フエルナンデア方面　本多　彬　本多　聖
○ア・マッシャード、プ・プルデンテ、マルチノポリス、インヂアナ方面　茂木源太郎
○コルネリオ・プロコピオ、バンデイランテス、サンタ・マリアナ方面　髙橋朝太郎
○グワラサイ、アリアンサ、チエテ方面　田代重守
○リンス附近　中村滿志
○アララクアラ線、ドラデンセ線方面、サンパウロゴヤス線　棟形　昇
○聖市近郊方面（S.P.R.線）　柳沼爲四郎
○パウリスタ本線方面　中川忠吉

伯剌西爾時報社

CARMO GRAZIOSI & CIA.
Rua Paula Souza, 286
ソルペッテの器具用品なら專門店カルモ・グラジオージ商會へ
先づ定價表をご請求下さい

Raymundo de Paulo e Silva
Cirurgião Dentista
齒科院　大久保
聖市イルマンシンプーリシアナ街一五〇番二階
（中矢商店前の[illegible]）

時報原稿用紙
十五字詰二十行、紙質上等、體裁優美、最適の書き好い原稿用紙です
百マイ　二ミル　送料共
切手代用可

中古シンガーミシン
新式四カベタ型
一臺あります
御望みの方は御來社下さい
時報商事部

伯剌西爾時報社
内外各地支社所在地

東京支社　鷺谷情一　東京市京橋區槇町二ノ三
リンス支社　中村滿志　Rua Comandante Salgado, 144　C. P. 203　Est. Lins L. Noroeste
プ・プルデンテ支社　茂木源太郎　Rua Ruy Barbosa, 70　C. P. 137　Est. Pres. Prudente L. Sorocabana
マリリア支社　本多　彬　R. Paes Leme 306（川口醫院側）　C. P. E Est. Marilia L. Paulista

父龜次郎儀日頃矍鑠として働き居り候處去る九月二十日午後壹時突然腦溢血を發し手當の甲斐もなく卒然として永眠仕り翌二十一日アグードス市墓地に埋葬仕り候段生前辱知諸彥に謹告仕り候

尙葬送の際は遠路態々御會葬被下且過分の御香料等賜り御芳情の程厚く御禮申上候

右略儀以紙上御挨拶申上候

昭和十五年九月二十四日

ソロカバナ線アグードス市郊外二十六
第二文爵植民地

三男　髙野三郎
母　同　キシ
義兄　篠原貞雄
三女　同　梅
義兄　髙橋　智
五女　同　陵子
義兄　伏黒勇悟
六女　同　嘉代子

子供の園

日本人の子として生まれ、併もブラジルに將來の發展を約束された子供達を伸すも曲げるも、家庭で與へる讀物次第です。

●これからの日系ブラジル人必讀の日常科學知識の源泉

◆朗らかで豐富なる情操の教育家

◆日本語と伯語の家庭教師

この二つを備へてゐる雜誌「子供の園」を貴方のお子さんにお與へ下さい家を興し名を擧げる人物に成長することは請合ひです。

定價一ヶ年三十銲
Noticias do Brasil
Caixa H S. Paulo

珈琲生產州會議終る
三つの重要項目を決定
農界一般に俄然明るい表情

全ブラジル否全世界の珈琲を支配する珈琲生產州會議は去る土曜日から各州の巨頭參集の下に開催され愼重協議中のところ遂に廿四日に至り結論に到達し次の如く決定を見た

一、融資法、融資の根底をなすカフエーの見積り價格を標準七〇ミルレイス也と決定した

二、過剩品は從來のDNCの政策を根本的に改めて、收納は行はず買ひ上げ政策を採用する、即ち如何程買ひ上げるとは決定してゐない

三、廢棄すべき老朽珈琲園については種々論議の末、本年は各州の總株數中四〇%を最高數とし、廢棄費用として一本につき五〇〇レイス也を政府から補助して、その實行を促進する

等々の重要決議を得た、全體を通觀すると先般聖州代表が上府申請した條件の半分程は政府側によつて採用されたわけである

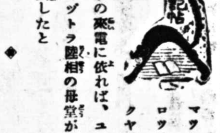
假七〇ミルと珈琲を評價し、これに對する伯銀側からの融資の金利は七%であると同時に發表された、これで農家、經濟界は少からざる光明と、救濟を受けることゝなつた

海外市場の反響

一昨日當り新政策期待で大强調を示してゐたニューヨークカフエー市況は昨日は何故か急に下押してゐた、稍買ひ過ぎた利喰ひかとも見られる

英國から通商使節

英國政府は英國品の積極的進出を企圖しブラジル、アルゼンチン、智利、秘露、ボリビア、ウルグワイなど南米諸國へ來る十月特別通商使節を派遣することになつた



マツトグロツソ州クヤバ市よりの來電に依れば、ユーリコ・ヅトラ陸相の母堂が昨日逝去したと

◆

ブラジル政府は今回國產飛行機三機をパラグワイ國へ贈呈した

◆

伯國農村經濟協會では、本日から伯國纖維週間を催す事になつたが、第一日目は午後五時から同協會に於てブラジルのジユタについて講演があり我日本植民の誇りとするアマゾンのジユタについて意見の發表がある

◆

第二のリンドバーグ事件として、北米全土を震撼させたカリフオルニア州の金滿家ツリスタン男爵家の少年拉致事件は、その後警察の手配宜きを得た爲め、昨日少年を取り戾し同家へ引き渡した、尙は身代金十萬弗は犯人に渡さずに濟んだ由

◆

アクリマソン行き乘合自動車を運轉してゐる邦人某は、昨日午前九時頃グロリア街で掃除人夫を誤つて車輪にかけ重傷を負はせた

◆

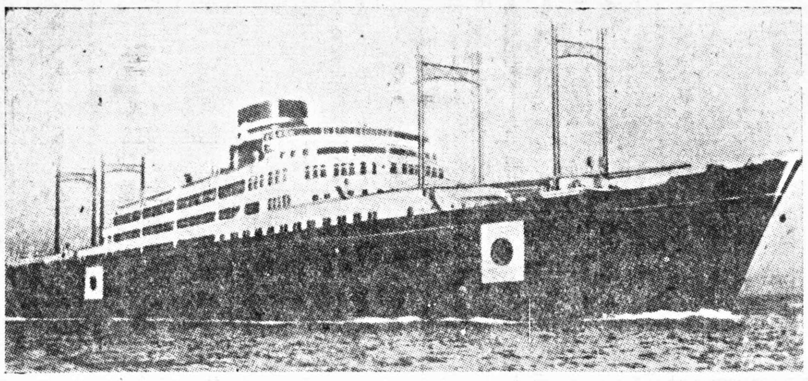
聖市附近は一昨日來再び冬が來たやうに寒氣襲來し、一旦質屋へ藏めたオーバーを引き出して着ても尙は底冷えする寒さにふるへる始末、昨日の寒暖計は九度を示してゐた

◆

目下聖市メトロ館で上映中の「風と共に去りぬ」は凄い人氣で、連日滿員の盛況である尤も二度目の上映は一年後になると言ふから押しかけるのも無理ないが、二三日來の寒夜に待呆けを喰つて入場出來ないナンテ凡そ意味ない話、向ふ三週間位ひは上映するさうだから御ゆつくり

◆

ノロ線の中心地、リンスに邦人第二世を首班とする（會長作田チヤゴ君）リンス農業者信用組合が成立したと



報國丸の快速に
乘客思はず快哉を叫ぶ

リオよりの本社特電に依れば去る廿二日（日曜）午後五時にサントス解纜の豫定だつた報國丸は日本及び上海行きの棉花の積荷急增と前夜來の降雨とで荷役以外に暇取り、翌廿三日朝六時半に延びたが優秀船報國丸は看板通りの快速力を發揮して、折柄の風浪高き海上を物ともせず、僅十二時間で全航程二百十三浬を走破午後六時半リオに投錨した乘客は快速を目の當り體驗し思はず快哉を叫んだ程だつたサントスリオ間は普通十八時間、貨物船だと廿四時間を要す

リオに於ても〝報國丸〟積込の荷物山積し荷役に暇取つた爲に出帆を一日延期し昨日午後三時拔錨した、リオでも船處女航海二度目の招待會を催した

同船には桑島大使が乘り込んだ、大使は廿三日、日伯文化協定調印の大役を果し、これをカバンにおさめ、日本への土產が出來たと至つて朗かだ尙ほ病勢を氣遣はれた內山アルゼンチン公使は奧さん初め關係者の手篤い看護効を奏し熱も平常に下り元氣であつた（寫眞は報國丸）

忍耐で基礎を固め
好景氣來に備へよ
桑島大使在留民に自重を要望

同盟石本社長は廿四日桑島大使を官邸に訪問惜別の挨拶を爲したが、それに對し大使は本紙を通じ在伯同胞に次の言葉を殘した

我日本は戰時國策の遂行上對內的にも對外的にも種々の方策を講ぜねばならぬ事は當然であり、在伯同胞も亦歐洲大戰の激變で經濟的に惡影響を蒙る事多からんも、これも一時的でやがて來る〻和を機にブラジルを有利に導くものである故、先づ當分は忍耐で基礎を固め、やがて來る好景氣に大いに力を延ばして我國の世界發展、即ち八紘一宇の大理想を實現せねばならない

これを邦人一同に貴紙を通じて知らせて貰ひ度い

（寫眞は桑島大使）

たぎる青年の意氣
願は興亞の戰士！
意に背き一青年の歸國

父の

住みなれた日本から、ブラジルに渡つて十有五年！刻苦精勵の甲斐あつて富は得た、今は故鄉に錦を飾る事が彼にとつて唯一の希望であつたが彼には今年廿二になる息子がある、今歸國しては切角これまで育て上げた息子が若し万一戰地に送られたら——とこればかりが心配で止むを得ず戰火のおさまるまで息子をブラジルに殘す事に決心し船賃と幾何かの金を與へて、自分はお先に先日のあるぜんちな丸で歸國した、所が殘された息子は

「自分から願つてまで出征志願した青年さへあるではないか、今自分が歸國出來る境涯にある事は他の誰にも優る神より與へられた機會である、五體は健全、召に應じ興亞の戰士として滿支の野に奮鬪することこそ男子に與へられた本懷ではないか」

と父の意に背いて斷然歸國する事に決心し、早速出聖、手續をとつて、去二十二日サントス港出帆の報國丸で希望と歡喜に燃えて出立した、この青年の一家はパ延長線某驛に在住してゐたがこの青年の意志により特に名は秘す

山に練る
「次代の魂！」
公榮青年會の合宿訓練

パ延長線マリリア驛公榮植民地青年會では去る九月五日より五日間、同地小學校々舍に於いて「合宿訓練作業」を開催し會長指揮の下に規律正しく終始して共同實習作業、名士を招いての講演等により智識の啓發に努め又合同體操、劍道、野球等によつて心身の鍛錬を圖るなど非常に有意義であつたが、時勢に鑑み次代を背負つて起つべき青年のこの行動は植民者からも感激の眼を以て見られた

これは不思議
戰時は結婚增加

【ロンドン特電】戰爭と結婚——悽慘な戰爭の反面にたのしい人生の幸福を求めて結婚してゆく若い男女がイギリスではますます增加して來た、この前の大戰當時の結婚率は千人につき二〇・二人であつたのが、こんどの大戰では昨年の九月以降今日まででですでに千人につき二一・一人といふ割合を示してゐる、夫が戰死すれば扶助料がもらへるといふ經濟的な立場からでもあらうが、相愛の、もしくは婚約中の男女が戰線を前にして一家をもちたいといふ切實な人生要求が結婚增加の最大原因で、統計によれば昨年中のイギリス本土結婚數は七十七万七千四百六件、このうち七八、九の三ケ月だけで三十三万四千七百十六件といふ數字を示し、ロンドンだけでも昨年中に五万四千件もあつたところで地方はどうかといふと、ランカシヤでは昨年中の結婚數四万八千七百三十四件、このうち十、十一十二の三ケ月だけで一万四千三百三十五件、ヨークシヤーでは昨年中三万四千四百四十九件、同三ケ月間に一万八百七十七件となつてゐる、なほ最近は五十歲から六十歲までの結婚者がふえて來たといふ奇現象もある

御移轉の際は舊住所を必ず御知らせ下さい　時報發送係

海外同胞東京大會
第二回評議員會開催

今秋十一月四日より五日間帝都に於て開催される紀元二千六百年奉祝海外同胞東京大會の第二回評議員會は昨日中央亭で開催

山岡万之助總長の挨拶あつた後、松井石根大將の祝辭あり終つて議事に入つた、尙は東京大會出席の爲め入京した海外同胞は現在千二百名に上つてるが、大會までには恐らく二千名に達するだらうと見られてゐる、又同胞が持參した慰問袋は二万個に上つてる

埋れ行く拓人の足跡
パイオニアの群
南樹

(32)

（七）

マルセイユで明穗氏と別れて本田竹治氏一家とロンドンに行つた九玉友藏、安田良一の兩氏は、茲で一ケ月余り隈部三郎氏の來着を待つてゐた、所が隈部氏が遣つてこないばかりでなく、本田竹治氏がブラジルに行かないと云ふことになつた、元來本田氏はロンドンに小さな商ひをして居た人である、ブラジルへ行くと云ふ事は全くのうそで、實は彼等純眞な青年を利用したに過ぎなかつたと云ふ說がある

とにかく本田氏がブラジルに行かないとせばロンドンに愚圖々々してゐることは無意義である。一日も早く目的地に行かうと云ふことで九玉、安田の兩青年はブラジルに出發した、さうしてサンパウロ市に着いたのは藤崎商店閉店の少し前であつた。さうしてホテル・ロテツセリ・スポルトマンのジヤガ芋の皮むきのトツプをきつた

青年九玉の教育は多分中學中途退學位な所でなかつたかと思ふが（その頃の人は今の人達の樣に學校などきくものもなければ、自巳の學歷など並べ立てゝ彼之誇識するものがなかつた）小柄な如何にもインテリらしいきび〱した青年であつた。氣慨があつて容易に人に屈することを潔しとしない青年だけに、死ぬ迄所を得ず家庭奉公に終始した

死ぬ迄と云つても三十前後で亡くなつたのであるから、滯伯年數も六、七年に過ぎなかつたらう

時折、偶然何處かで彼に遭ふことがあると、何時も移民會社の横暴を憤慨した、その頃移民會社は移民が着くと何時もモーカの移民收容所の鐵門を堅く閉鎖して、新移民と外方との交通を完全に杜絕した。これはまさしく罐詰と云ふもので、人權蹂躪も甚しい

「鈴木さん、これは貴方方の責任ですよ」

彼は病身な青白い細顏の額に筋を立てゝ私に迫つた。しかし私とても浪人で、九玉君以上に無力な人間であるから、どうすることも出來ない悲痛な問題であつた

「其の問題に對し憤慨する點に於ては敢て人後に落ちないつもりであるが、しかし九玉君、私はあゝした方面には何の力もない人間なんだよ」

私は苦笑するより外なかつた、彼はそれを覆ひ被せるように

「だつて民間にそんな問題に喙を入れることの出來る人間は貴方以外にないではないか」

彼の眼は妙に輝いて來る

「それは九玉君、買被りだよ」

かう云ふより外にない私の心のドン底には九玉君以上にうら淋しいとも悲しいとも云ひ樣のない暗い陰影がみなぎつた。そうして彼があの樣に絶望した移民收容所の鐵門は遂に解放せらるゝの時を見ず彼の肺病は日一日重くなつて行つた

私は不幸にして彼は何處で（サンパウロであることは勿論だが）何時死んだかを知らないが、鹿兒島縣出身であるから、多分愛鄉心の强い人の手に依つて厚く介抱されて瞑目したかも知れないが、あゝ云ふ氣性の人の常として或は何處かじめ〱した餘り日光もさゝない一室の內に、大きな空想を夢見つゝ人知れず死んで行つたかも知れない

今日誰か彼を謗り、よし遂げ得なかつたとしても、日本民族の將來を目標として驀進した彼の勇氣と負けじ魂を讚歎するものがあらう

私は報ひられないパイオニヤの標本を、彼の上にまざ〱と見せられた樣な心地がする。私は彼が何故に隈部三郎氏と共にリオ州サントアントニオ植民地開拓に行を共にしなかつたかを知らない、恐らく彼のあゝした氣性が妥協を許さなかつたものであらう

若し九玉君の知人にして氏の死せる年月日と死所とを知れる人あらば、時報社氣付として私宛にお知らせを願ひたい

重要商品市況

九月廿四日

	買値	賣値
○バタタ 六〇キロ		
アマレーラエスペシアール	六五、	六六、
○スペリオール	五五	五六、
○マンヂョカ粉三〇瓩	三〇、	三三
アルファファ キロ	四六〇	四七〇
○小麥粉一般	四三	四四
○砂糖 以下六〇キロ入		
極上	七一、五	七二
上等	六八、五	六九
○フエジョン 六〇キロ		
△新ムラチンエヨ		
スペリオール	六二	六三
エスペシャル	六六	六七
ボン	五九	六〇
レグラール	ノミナル	
△コーレス 六〇キロ		
ブ・グラード	八八	九〇
ロシンエヨ	ノミナル	
シユシピーエヨ	七〇	七二
△ミリヨ 六〇キロ		
アマレリンエヨ	一七二	一七三
アマレロ	一六九	一七〇
アマレロン	一六八	一六九
△アローズアグリア		
エスペシアール	七三	七四
スペリオール	六七	六八
ボン	六三	六四
ブランコ		
エスペシアール	六五、	六六
スペリオール	五八	五九
ボン	五二	五三
レグラール	ノミナル	
△カテテ		
エスペシアール	四五	四六
スペリオール	四二	四三
ボン	ノミナル	
△メイオ	三三	三四
△キレーラ	二四	二五
○セボーラ 六〇キロ リオグランヂ	ノミナル	
○マモナ キロ	六五〇	六六〇
○ペエヤ 南大河	一六七	一六八
二〇キロ	一六七	一六八
○豚（オザスコ相場）		
○ゴールド	三一、	三一、六
○マーグロ	二七、五	二八

蔬菜相場

九月廿五日

コチア產組調

	安値	高値
トマテエスペシアル	三五	四〇
プリメーロ	一六	二〇
セグンド	一〇	一八
レポーリオ	一六	二一
ピメントン	一〇	一五
ベーシ	一五	二〇
エルビーリア	二五	三〇
ポプリンエロ	一八	二四
ベピーノ	一三	二〇
人參 二百	一〇〇〇	一、五〇〇
パタタ	一〇	一五
コベフロール	一〇	一八
なす	一〇	一〇
玉子	二、〇〇〇	二、五〇〇

產婆

お產のことなら晝夜の別なく何時にても遠近を問はず往診致します

ジユーリア・ゴドイ・ラーモス

住宅　聖市トーマス・デ・リーマ街二六五

電話　二一六五二七

倉本せい子

尋ね人

二宮　靖

本籍　愛知縣碧海郡知立町

鄕里よりの送金保管しあるに就き旅券携帶の上受取りに御出頭相成度

昭和十五年九月二十五日

在サンパウロ

日本總領事館

女中さん入用

御希望の方は（聖市コンセイロ・フルタード街九三番ホテル萬平にお問合せ下さい

小野

蓄音器とレコードは

專門のアイチクで

古レコード高價買入れ

及び附屬品の修理

三浦愛蓄堂

R. DR. LUND, 29

貸家

コンソラソン區ルア、コンソラソン電車道近くルア、アマラル、グルゼル四八九

御問合せは

カンブシー區　千葉木炭店へ

（電話七一七九一二）

至急・職人及び見習各二、三名

好條件にて雇ひたし

アラメーダ・グレッチ

一〇一八　電話五一四七四一

チンツラリーヤ

リール・ナセンテ

至急入用

職人及び見習各一名宛

ラツパ區

カイオ・グラツコ街四〇七

チンツラリーア・フロリダ

電話五一〇四八九番

Restaurante

Caverna Paulista

R. Libero Badaró, 39

Tel. 3-2978 - S. Paulo

各種內外飲料物

宴會、婚禮には特別サービス

家族揃つて御來店の程を

晝食　夕食　七釬

KANAKAO S/A

新入荷

リオ・グランデ・マタドル肥料

英國製硫酸銅

肥料、農具

藥品、ニカワ

カナカオ化學工業株式會社

サンパウロ市テオドロ・サンパイオ街二七七六番

郵函　二一八六

電話　八・二五八七

支店　イタプラ・デ・ミランダ街一七

電話　二・六六三七

日本からの雜誌は申込下されば迅速に御送附致します

時報商事部

移轉通知

今般シヤ・リベイラ御部をタバチンゲーラ三百六十二番地からガルボン・ブエノ三百五十一番地（Galvão Bueno 351）に移轉致しましたから皆樣に御通知申上げます

シヤ・リベイラ

岡本茶園聖市販賣部

CINEAC

Av. Sao Joao - Largo do Payssandú

O Cinema da Actualidade

今日

航空便にて到着せる世界動亂のニユースを豪華なプログラムにおさめ公開

日本空軍の偉力

最近日支事變に於ける驚異的な日本空軍の活躍

アルテ・フランセーズ　シネディア

內國ニユース

ニユース…漫畫…ショート…パノラマ

ポルトローナ　二$五〇〇

バルコン子供　一$二〇〇

日伯書簡文集は

弊店の一手販賣となりました

ブラジルで生活するにはどうしても葡文で簡單な手紙位は心得て置きたいものです

今評判の「日伯書簡文集」に依ればどなたでも極めてたやすく覺えられます

尙葡語普及奬勵の爲め「日伯書簡文集」御買上の方に限り水本法律事務所發行の新法令一冊を無代進呈致します

＝日伯書簡文集送料共　一二ミル六百レース＝

遠藤書店

T. YENDO

Caixa Postal, 2878 - S. Paulo

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal H

Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno . . . . 60$000
" Semestre . . 30$000
Numero do dia . . . 300 reis

Gerente B. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII — S. PAULO — QUINTA FEIRA 26 de SETEMBRO de 1940 — DIARIO NO. 2293

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

Embarque do Embaixador Kazue Kuwagima para o Japão

RIO 24 (— Via Vasp) — O embaixador Kazue Kuwajima que hoje, regressou ao Japão, a bordo do «Hokoku-Maru» recebeu do governo e do povo brasileiro, as mais eloquentes demonstrações de sympathia e reconhecimento pelo seu esforço incansavel em prol da aproximação commercial e espiritual entre o Brasil e o seu paiz.

Na tarde de hontem conforme tivemos occasião de noticiar, o embaixador do Japão foi recebido pelo presidente Getulio Vargas. O sr. Kuwajima apresentou a s. exa. as suas despedidas, por ter de deixar o Brasil para assumir outra missão do seu governo.

Durante a cordial palestra que manteve com o illustre diplomata oriental, o Chefe do Governo teve occasião de manifestar seu reconhecimento pelos innumeros e assignalados serviços prestados pelo mesmo durante a sua estada em nosso paiz.

A' noite, foi o sr. Kazue Kuwajima homenageado no banquete mensal do P. E. N. Club. Esse banquete, foi presidido pelo illustre diplomata e contou com a presença dos nomes mais representativos da cultura brasileira e de numerosos escriptores estrangeiros como os srs. Zweig, Gabriela Mistral, Leopoldo Stern, Julian Twin, Jan Lechon, Philip Carr e do pintor Michel Czeromanski, tendo falado o academico Claudio de Souza, presidente do P. E. N. Clubdo Brasil.

A recepção offerecida, na embaixada pelo sr. Kazue Kuwajima á sociedade brasileira mostrou de maneira inelludivel, quanto s. exa. é estimado. Os salões se encheram de figuras as mais representativas da politica, da administração da diplomacia da sciencia das letras, das artes e da imprensa. Foi um acontecimento social. O embaixador Kazue Kuwajima teve occasião de receber as mais vivas provas de sympathia de todos os presentes que testemunharam seu pesar pelo regresso de s. exa. Durante horas viveu-se num ambiente de rara distincção. A recepção de despedida do embaixador Kuwajima constituiu a prova mais segura da victoria da sua actuação á frente da representação do seu governo no Brasil. Por força das suas invulgares qualidades de espirito, da sua acção multiforme incansavel da sua sympathia irradiante o illustre diplomata tornou-se uma das figuras mais prestigiosas do corpo diplomatico estrangeiro acreditado junto ao governo brasileiro.

Um grupo de amigos do embaixador Kuwajima offereceu-lhe hoje, á bordo do «Hokoku-Maru», como uma lembrança da sua estada no Brasil, um quadra da pintora brasileira Lucilia Fraga, representando flores brasileiras (mimosas e papagaios) que, no Oriente, trar-lhe-á a imagem da nossa natureza tropical na exhuberancia de seus coloridos vivos e alegres.

O illustre diplomata recebeu, commovido aquella prova de amizade, testemunhada de modo tão feliz, e mais uma vez affirmou o seu proposito de no Japão continuar a tarefa a que se propoz: tudo fazer por tornar cada vez mais intimas as relações nippo-brasileiras. No grande Imperio Oriental será um propagandista enthusiasta da cultura e da grandeza economica do Brasil e realçará sempre as grandes qualidades da nossa gente.

Protecção declinavel

PELAS nações da chamada pequena entente balkanica deante do que acaba de succeder ao Rei Carol, passa um caso typico de uma como neuro-psychose um tanto indefinida mas, que de facto existe e preoccupa as vigilias dos politicos.

Receiam ellas que Downing Street «haja por bem» querer extender seu manto protector sobre mais alguma outra menos avisada por si acaso qualquer das muitas possa querer aceitar intempestivamente a curatella prejudical.

Informa-se nos circuloos autorizados das rodas diplomaticas, que se projecta para dentro em breve uma reunião daquelles paizes ameaçados pela generosidade expontanea do curador indesejavel que se veem forçados a recorrerem a uma como liga — anti-proteccionista — uma vez que todas as vezes que foi offerecido uma protecção sem que se pedisse o resultado foi como se sabe bastante desastroso para o — protegido — que desde logo como consequencia primeira passou primordialmente a soffrer uma — capitis diminutio maxima — no tocante á soberania de personalidade juridica de Direito Internacional.

Não desejam, de modo algum que os olhares do Leopardo volvam para as suas bandas.

Corre ainda nos mesmos circulos diplomaticos autorizados, que essa projectada reunião balkanica provavelmente terá por finalidade fazer chegar á Londres o receio aliás muito fundado de que o altruismo proteccionista lhes seja prejudical.

Entretanto parece que ellas, por mera delicadez, chegarão a um accordo segundo se presume de que si for preciso o que ellas não acreditam Londres será avisada em tempo opportuno mas sem esse aviso prévio esperam que lhes não seja offerecida expontaneamente qualquer especie de protecção.

Sabe-se ainda que Londres, com a resolução do soberano abdicante mordeu os labios e deu um valente murro na mesa pelo simples motivo de vêr nisso tudo as intelligentes démarches da politica do Eixo, que lhe deu o xeque-matte no taboleiro balkanico.

As ultimas noticias do Extremo Oriente Remoto tambem devem ser desoladoras para os adversarios das Potencias do Eixo uma vez que o Imperio do Sol Nascente resolveu, como declarou o porta-voz do Chaymucho fazer — caso omisso — de qualquer interferencia extra-continental em assumptos asiaticos.

Observações na America do Sul

Por SETSUZO SAWADA

(Ex-embaixador do Japão no Brasil)

RIO (Divulgasão da Succursal do Rio) — O Japão acha-se actualmente occupado com a gigantesca tarefa de estabelecer uma nova ordem na Asia Oriental. Afim de acompanhar este grande proposito todas as forças moraes e materiaes da nação estão mobilisadas. Para este fim é essencialmente necessario que continuem a se desenvolverem os esforços, constantemente para ainda mais se estreitarem as relações internacionaes com os poderes Amigos e ajustar estas relações de tal maneira para conduzil-as á realização desta grande missão. Deste ponto de vista, os paizes da America do Sul distantes que se acham do Japão occupam um logar destacado entre as nossas relações internacionaes que não podem ser ignnoradas. Entre os paises Sul-Americanos o Brasil, a Argentina, o Perú e o Chile, são sem duvida, os paizes de grande interesse para o Japão, principalmente no ponto de vista de immigração de empresas industriaes e transacções commerciaes, bem como no assumpto que se relaciona com a cultura e instrucção em geral.

Revendo a questão da emigração japoneza para a America do Sul, o paiz que vem primeiro ao encontro da nossa mente é o Brasil. Não é muito dizer que as relações entre o Brasil e o Japão foram consolidadas abrangendo todo o assumpto da immigração japoneza durante 40 annos desde que se estabeleceram as relações diplomaticas entre estes dois paizes. Somente nos recentes annos, que outros assumptos appareceram. Emquanto que a maior parte dos paizes do mundo adoptaram as restricções ou leis politicas prohibindo a immigração japoneza o Brasil conservou as suas portas abertas por longo tempo; presumimos porém, devido á necessidade de obter o supplemento sufficiente para o trabalho que foi fornecido pelos immigrantes.

Durante alguns annos anteriores á adopção da Constituição de 1934 no Brasil cerca de 10.000 immigrantes japonezes annualmente acharam o seu caminho para este paiz.

Todavia no Brasil ha elementos que estão a favor dos japonezes immigrantes e ha tambem, outros que são contrarios á immigração japoneza. Esta animadversão tornou-se mais accentuada por occasião do incidente Manchuriano e finalmente resultou na adopção da clausula restrictiva chamada anti-japoneza na nova Constituição de 1934, restringindo a percentagem annual de immigrantes do Japão para 2.813. Mais tarde, medidas favoraveis foram tomadas, e a média aproximada permittindo a entrada de immigrantes japonezes para o Brasil foi de 6.000 annualmente, até 1937. Sob a nova lei de immigração de 1938 a percentagem permittida para immigrantes japonezes foi como nos annos anteriores de 2.815. Esta lei entretanto foi creada para a «accommodação provisoria» sob a qual indeterminada percentagem, permittindo a immigração seja transferida para os outros paizes para assim o paiz ter a capacidade de assegurar, annualmente uma producção adequada de trabalho.

Presentemente uma estimativa approximada de japonezes residentes no Brasil é de 200.000 estando a maioria empregada nos trabalhos de agricultura especialmente na plantação do café algodão arroz, chá, vegetaes e cereaes. A maioria dos japonezes estão concentrados no Estado de São Paulo e muitos delles occupam actualmente posições confortaveis. Fomos informados de que o valor dos productos fazendeiros elevou-se pelos japonezes nese Estado em 1937 e chegou a 150 milhões de yens. A exportação de algodão natural de São Paulo é de cerca de 1.200.000 fardos, annualmente sendo 60% produzido pelos japonezes.

(Continua)

經濟欄

珈琲 生産州會議進む

近く何等か吉報ある筈

聖州側提案を中心に評議

現下聖州經濟界の最大問題はカフエー生産州會議の成行きである、某方面からの情報によると聖州側からは買ひ上げ値段の更改と、老廢カフエー園の處分に對する政府補助金交附等が多分出てゐるだろうとの話である、今次の會議には右重大要求と併行的に注目すべきは、他州からは州統領自らが出馬してゐるにも拘らず、聖州はローリン・テレス氏（珈琲方面の權威で何れかといへば非政治系人物）が出動して大いに活躍してゐることである、此の記事が讀者諸氏の手に入る頃には何等かの報告の發表がある筈である、その成果如何は秘密で未だに判明しないが、現在のDNC買上法よりは幾分でも良い方策の出現は期待して良いようである、會議の進行の報に早くもニューヨーク先物市場は假に強調を示してゐることから見ても略ぼ豫想されるところである

地主さん會議

新契約條件を相談

聖州耕主會議は不景氣にも拘らず來年もカフエーの世話はやる決心をしたと見え廿三日集會を開き、大體次の條件で新契約を結ぶことに話合ひをした、大體カンピーナス、アンパロ、ブラガンサ、等が決めたもので、それによると千本につき一回カルピー三五—四〇ミル、日傭ひ四—五ミル、山立て、山崩しは五〇ミル採集賃は百十リットルにつき三ミルレイスとなつた、他の條件は全部前年の通り据え置きである由

珈琲

生産州會議の新成果期待で、サントス、リオ両市場共底意強含み乍ら商勢微弱、ニューヨーク電はサントス級—四一一ポイント方引締を報じてゐる、同じくリオ會議を反映したものである

サントス統計

（廿三日現在）

通關	七、四三〇俵
入荷	四、五七五"
船積	五三、七九七"
在庫	一、五二二、二八〇"
發送	一八、一八〇"

三百八十八万

歐洲交戰國死傷數

歐洲開戰以來の交戰國間の損害につき最近のニューヨークタイムス紙は各國政府の發表とその他比較的信憑すべき報道に基づき左のごとき統計を發表し、昨年九月の開戰以來今年七月一日までの總數死者廿二万一千▲負傷者七十四万三千五百▲捕虜および行方不明二百九十一万六千▲計三百八十八万五百と推定した、即ち各國別犧牲概算を表示すれば別表の如くである、但これはソ聯とフインランド戰は含んでゐないなほ表中、英佛白の捕虜、行方不明者が實に二百十万余を算してゐるのは主としてフランダース、アルトワの獨軍による大殲滅戰に依ものである

	死者	傷者	捕虜行方不明	計
獨	五〇,〇〇〇	一六五,〇〇〇	二八,〇〇〇	二四三,〇〇〇
佛	七〇,〇〇〇	三一八,〇〇〇	一,六〇〇,〇〇〇	一,九八八,〇〇〇
英	二〇,〇〇〇	三四,〇〇〇	三六,〇〇〇	九〇,〇〇〇
伊	一,〇〇〇	一,五〇〇	二,〇〇〇	四,五〇〇
波	六〇,〇〇〇	一六〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	六二〇,〇〇〇
蘭	六,〇〇〇	二五,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三三一,〇〇〇
白	一〇,〇〇〇	三五,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	五四五,〇〇〇
諾	四,〇〇〇	五,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五九,〇〇〇
計	二二一,〇〇〇	七四三,五〇〇	二,九一六,〇〇〇	三,八八〇,五〇〇

何處へ行く

新體制下の取引所

株式の本質と取引所

九大教授 波多野鼎氏

（一）

取引所を株式取引所に限つて考へよう、新體制下において取引所はどうなるか、またどうなる可きか、私の結論は本來の機能を擴充强化することになるであらうといふに盡きる

一部には取引所は無くなりはしないか、あるひは無用の長物に化しはしないかと謂ふような危惧が抱かれてゐると聞くが、これ等は疑心暗鬼の甚だしいものであると思ふ、私的資本が認められ、株式會社組織が存續する限り、取引所はかゝる資本動員の機關として絶對不可缺の機關である、この資本の機能を充分盡すところにその新體制下の取引所の使命があるのである

（二）

又米穀取引所の運命を見て株式取引所もあんな風に轉化しないだらうかと見る人もあるようだ、米は終局的には消費されて市場へは歸らない、一方的の動き止るため米穀取引所は全然存在しなくとも大した不便が無い

ところが株式は米とは違ふ、存續期間を限つた株式會社等はあり得ない筈である、然るに株式を手にした株主は子々孫々まで放さないのは反對に例外的存在である、消滅せず轉々するのが株式本來の形であり取引所は株式の本質に即した機關、株式を株式として生かす機關と言へる、取引所なき個人間の取引きは何等基準なく暗取引きと選ぶところが無い

（三）

米の價格を政府が公定するやうに株式價格も政府が公定するのではないかといふ人々もある、これに對して私は次のやうに考へてゐる

米の銘柄は多いといつたつて數が知れてゐる、また價格公定の基準となるべき生産費の計算でも必ずしも困難ではない、しかし株式はこゝでも米とは違ふ、その銘柄は千をもつて數へるほどの多數である米の生産費に當るべき事業成績の算定は不可能である

しかし米とは違つた意味での公定は可能でもありまた現に着々實行されてゐることを注意せねばならぬ、即ち株價決定の一基準となるべき利子率が公定されてゐること、公債消化政策の強行によつて大口の株式投資余力と短期金利とが政府の意のまゝに左右され得ること、さらに株價決定の他の一基準たる配當率が抑制されてゐること增資は減配を條件としてでなくては認められないこと、かやうな方法によつて株價は間接的に公定されてゐるといつて差支ない

控へ帳

◆最近南洋を視察して歸つた某巨頭の話によると、ドイツの電撃戰は世界の情勢を激變させてゐるが、特に對日空氣の激變したのは佛印と蘭印で、これまで日本人入るべからずの禁制を六月を境にして完全撤廢したのみならず、こんどはおいでおいでの引つ張り凧

◆蘭印では石油の採掘權をあげる、森林伐採權もやる、日本の必要とするものはどし〳〵やりませう、と全く世界が變つたやうな騒ぎ

◆佛印では今まで日本の万年筆には十一割の關税、米國品には三割といふ差別待遇で、日本品入るべからずをしてゐたものが人の顔を見れば日本の御注文は何でもきゝますといつたあんばい

◆日本としてはこのニコポンをよく〳〵考へて搾取され通して來たこれら東亞民族解放のため次の手を打たねばならないだらう

世紀の英雄

（[illegible]）

番仲二

夏目郎 畫

（三十一）

レビユ皇軍行進（十二）

「一體、この男は何處まであたしを踊子と見間違へてゐる氣なのかしら？」

成程、塚田美惠子は踊子にもしたいやうなすつきりした肢體をそなへて、それを形の良いワンピースでおほつてゐる。ワンピースは滿洲にゐる兄の源太郎がハルピンで買つて送つてくれたものであつた

暗い舞台裏とはいへ、ほのかに漏れて來る灯に、美惠子は、瞬間相手が誰であるか解つたのだ。この間、伊藤デパートの自分の職場で、話しこんで行つた牧である。美惠子は牧が、鐵子の旦那さんで、はしにも棒にもかゝらない人物だとは知つてゐた。然し、直子の説明によると

「姉さんも、姉さんよ。あれぢや、旦那さんが浮氣したりだらしなくなるの無理ないと思ふわ。それに、牧さん、美男でせう、どうしたつて事件が起るわ。でも牧さんも氣の毒よ」

直子は、牧のことを決して義兄さんとは言はない。牧さんと言ふが、そんな言葉の端々にも彼女の兩親が、牧を、婿として認めぬ態度もうかゞへた。

それを美惠子は牧に對して可哀さうだとさへ思ふのだ

直子の「牧が氣の毒だ」と言ふ意味は他にある

牧は、數々の對象が出來ても、それからそれへつまらない女にばかりぶつかつて行つて、女らしい女に會つた事が無いと言ふのだ。度々相手を變へる事は、彼をして、色魔めいた噂をたゝしてゐるが實は女運がわるく、變へる事が止むをえないのでつまりは變へるよりは、女に逃げられるのだとも言へる

ともあれ、鐵子の場合にしても浮氣をして廻る牧ばかりがわるいのではなく、鐵子にも重々罪があるのであらう。

ところで、舞台裏の二人だが——。牧は、

「訊いて貰ひたいつて事はね鐵子のことさ」

「……」

「どうして返事をしないんだい。ねえ、外へお茶のみに行かう。そこで話をするから、ねえ、行つてくれたつていゝじやないか。あのトロットが終るまで默つて君が僕と踊つてゐてくれたら承諾してくれたと思ふぜ」

ボックスのジャズは牧と申合はせてゐたやうに直ぐ止んでしまつた。返事をするもしないもなく美惠子はまご〳〵してゐると

「有難う。OKだね」

すると又今度は二人に合はせるやうになごやかなルンバが流れて來た

流石に美惠子は、途方にくれてゐた。自分の姿が、それと解つたときの氣恥かしさも充分あつた

「さ、話のまとまつた記念にもう一度あのルンバに合して踊らう」

牧のわざとする荒つぽい踊りに、美惠子は大道具にぶつかつたり、足を踏まれたりして踊つた

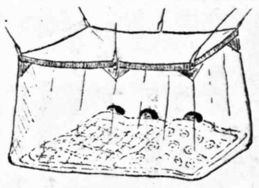
マラツカの豆をいるやうな響きが顫動するたびに美惠子は青春の呼吸を一杯にした。

大道具と大道具の間にはよく人一人位通れるやうになつてゐるのだ

丁度今の稽古が牧のやうに休みである岩田達夫が便所へ行かうとして、背景にうつてあるかすがひをまたぎながら行くと、背景の向ふ側でぶつかつた者があるのだ。すると紙屏のやうな背景がぶる〳〵と震へた

それは丁度踊つてゐる美惠子と牧がぶつかつておいてくすく〳〵としのび笑ひをするその聲まで達夫の耳には入つて來た

日本式蚊帳（麻布製）



▲日本式寢室向
二人用 六十五銑
三人用 七十五銑
四人用 八十五銑
五人用 九十五銑
以上一人增毎に十五銑增し

▲洋式寢台向
一人用 五十五銑
夫婦用七十九銑、出入口一個につき五銑
三個寢台用 八十五銑、
以上カーマ一台增毎に二十銑增し

家庭常備用
健康强壯劑

最も多い病氣は子供も大人も胃腸病であります。胃腸を衰弱させるのは百病の入口を作るのであります。胃腸を健全にするにはゲンノショウコを常用する丈で充分です。出來るならゲンノショウコとハブ草とこれに昆布（沃度含有）を混じて毎日茶として飲む事であります。此位い健康を增す强壯劑はありません

ゲンノショウコ乾草一包（二百瓦） 六銑
ハブ草種子 一〇〇瓦 三銑
昆布（キザミ） 五〇〇瓦 一〇銑

時報商事部
時報支社
地方取次所
Lins - R. Com. Salgado, 144
Marilia - R. Paes Leme, 306
P. Prudente - R. Ruy Barbosa, 70

社告

謹啓 時下益々御隆昌之段奉賀候
陳者弊社外交員 渡部兵吉儀 錦地出張中は多大の御配慮を忝ふし、誠に難有奉深謝候 御陰を以つて所期の成果を收め本日無事歸社仕候間御休心被下度御願申上候
先は御禮迄 敬具

九月二十日

伯刺西爾時報社

中央線方面
在住各位

發着廣告

日本へ
ぶえのすあいれす丸 サントス發—十月十四日 横濱着—十二月一日
南阿丸 サントス發—十月九日 神戸着—十一月廿三日

日本より
ぶえのすあいれす丸 神戸發—八月十三日 サントス着—九月廿八日
南阿丸 神戸發 七月十日 サントス着—十月二日

南阿丸—一等船客のみ御引受申上ぐべく候
詳細は弊社又は左記代理店へ

サントス 伯剌西爾大阪商船株式會社
(Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda)
Rua Cidade de Toledo, 31 Tantos

聖市 伯剌西爾大阪商船會社出張所
(Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda)
Filial de São Paulo
Rua da Quitanda 82 - São Paulo

WILSON, SONS & CO. LTD.
Avenida Rio Branco 37 Rio de Janeiro

伯國大阪商船會社